

# ワークステーションとデスクトップ用のアクションボット

## 概要

この記事では、ワークステーションとデスクトップ用のWalkMeアクションボットの構築方法について説明します。

WalkMe ActionBotは、エンドユーザーがタスクを完了したり、質問に答えたりするために対話するチャットインターフェースです。アクションボットは、サポートされている以下のすべてのプロセスを実行できます：スマートウォークスルー、シャトル（パーマリンク付き）、リソース、シャウトアウト。WalkMeワークステーション/デスクトップで作成されたActionBotsは、ユーザーが完了する必要があることやその意図を判断します。ActionBotはこの情報に基づいて、正しい会話を選択することができます。

WalkMeアクションボットの詳細については、[WalkMeアクションボットとは？](#)の記事をご覧ください。

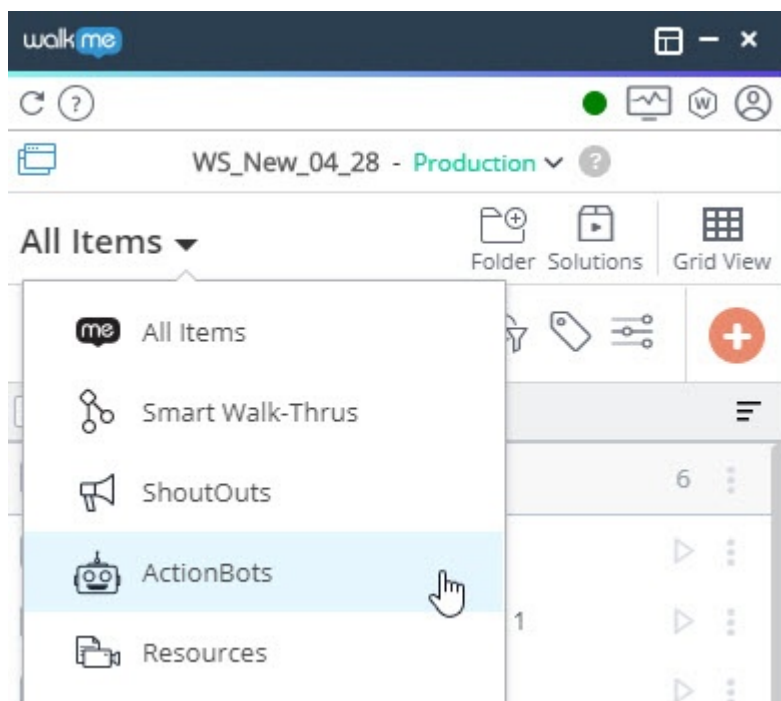
[ActionBotの構築の詳細については、こちらをご覧ください](#)

注意：

- V5.9以降のバージョンでのみサポート
- ワークステーション/デスクトップのアカウントごとにアクションボットが1つのみサポート
- 多言語はサポート対象外
- セルフホストのアカウントはサポート対象外
- ワークステーションシステムはセグメンテーションをサポートしていません。セグメンテーションされた会話はワークステーションに表示されません。

## ボットを構築するための手順

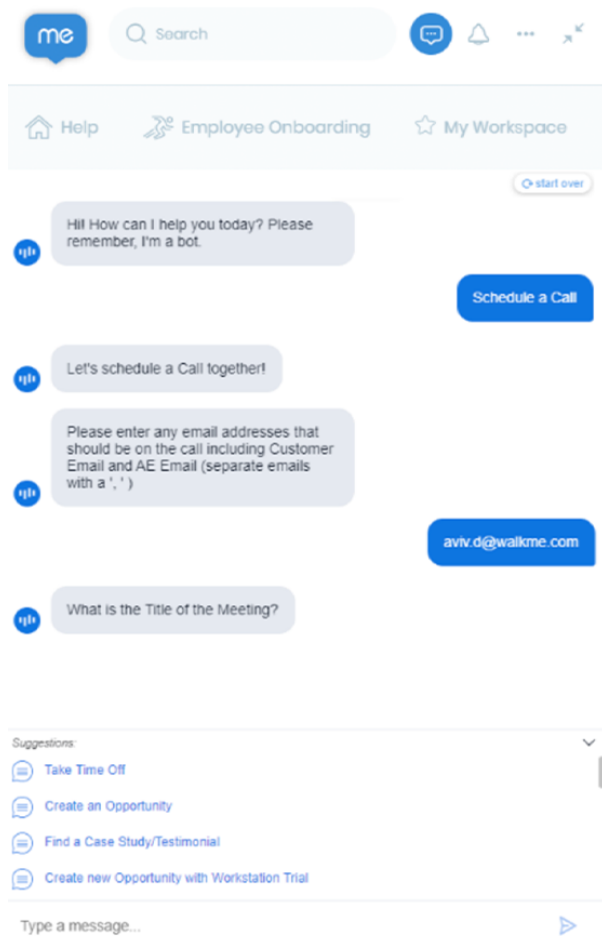
1. アカウントマネージャーに連絡して、ワークステーション/デスクトップ向けアクションボットを有効にします
2. WalkMeアプリの下向きの三角形をクリックし、[ActionBots]アプリを選択します。



- 3.
4. アクションボットビルダーで、左のサイドバーのボットをクリックして、ボットを追加します
  - 注 – ワークステーション / デスクトップアカウント1つにつきボットを1つのみ追加できます。
5. 会話を作成します。アクションボットがサポートされている以下のプロセスを実行できるようにします。
  - スマートウォークスルー
  - シャトル (パーマリンク付き)
  - Resources
  - ShoutOuts
6. アクションボットをパブリッシュして、ワークステーションとデスクトップにぜひお使いください

注意：

アクションボットのすべての機能がデスクトップとワークステーションで利用できるわけではありません



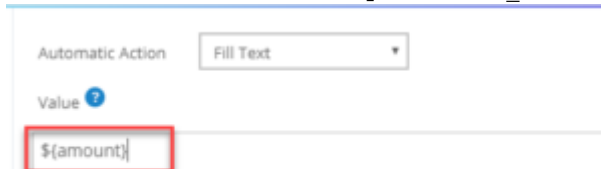
## 自動プロセスの作成

アクションボットを使用すると、デスクトップとワークステーションからウェブアプリケーションに自動化されたプロセスを実行することができます。これにより、サポートチケットを自動的に埋めるなど多くの機能を利用できるようになります。

注意：

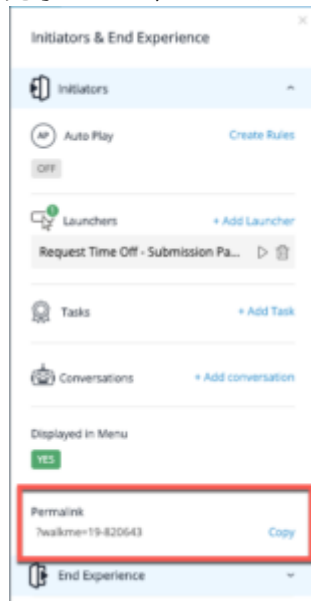
- マルチシステムアカウントが必要
- 現時点では、セルフホストのアカウントはサポート対象外
- エンドユーザーは、自動化スマートウォークスルーの再生を成功させるために、ウェブアプリケーションにログインする必要があります
- WalkMeエディタは、統合のテスト中には閉じる必要があります
- ワークステーションボットとチャトルは、ウェブエディタの自動化されたスマートウォークスルーと同じ環境に公開しなければなりません

1. アカウントマネージャーに連絡して、ワークステーション/デスクトップ向けアクションボットを有効にします
2. ウェブエディタで自動化されたスマーウォークスルーを作成します
3. 自動アクションを [ Fill Text (テキストの入力) ] に設定し、`$(parameter_name)` という形



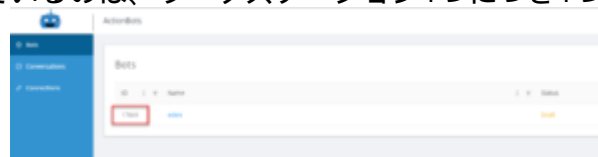
式で動的な会話の値を要求します。

4. ASWTが完了したら、パーマリンクをコピーしてどこかに保存します。これは後で必要にな



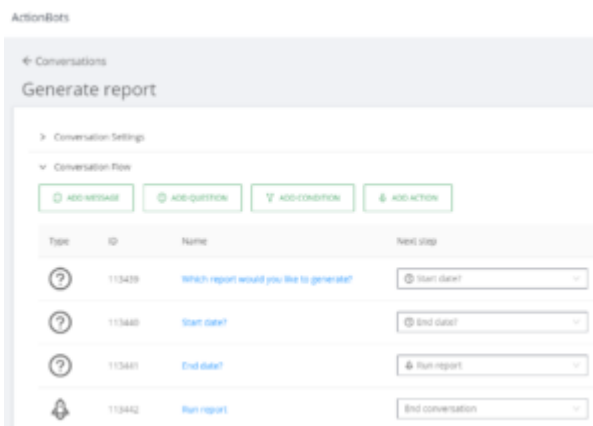
ります。

5. デスクトップ/ワークステーションエディタに切り替え、新しいボットを作成します。現在サポートされているのは、ワークステーション1つにつき1つのボットのみであることに

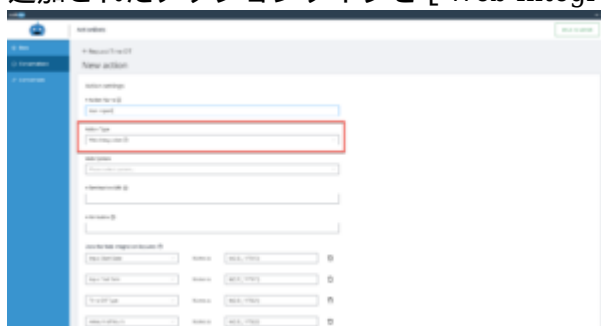


ご注意ください。

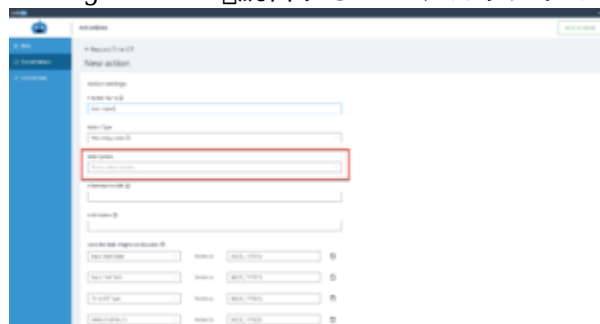
6. 必要に応じて会話の質問で会話を作成します。



7. アクションで会話を終了します。
8. 追加されたアクションタイプを [ Web Integration (ウェブ統合) ] に設定します。

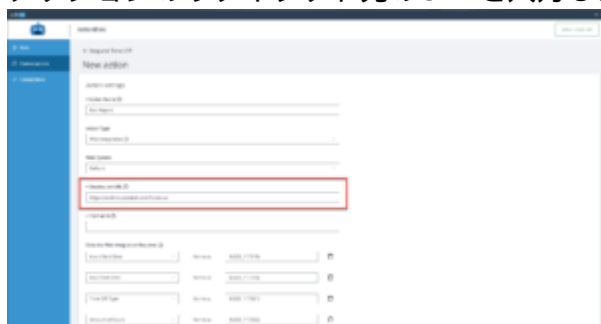


9. [ Web System (ウェブシステム) ] のドロップダウンから [ エディタ Web System from the MSA Account to Integrate with (統合するMSAアカウントのエディタウェブシステム) ]



を選択します。

10. アクションのリダイレクト先のURLを入力します。



11. 次に、選択したエディタウェブシステムから以前に保存したスマートウォークスルーのパー

The screenshot shows the 'New action' form in the WalkMe interface. The 'Name as' field is highlighted with a red box. The form includes various input fields for action configuration, such as 'Action name', 'Action type', and 'Action settings'.

マリンクを入力します

12. 「ウェブ統合に必要なデータ」のセクションで、
  1. ドロップダウンから会話の質問を参照します。
  2. 「Name as」とラベル付けされた入力欄に、ウェブエディタで作成した対応する自動入力ステップに適用される動的な会話のパラメーターを追加します。

The screenshot shows the 'New action' form in the WalkMe interface. The 'Name as' field is highlighted with a red box. The form includes various input fields for action configuration, such as 'Action name', 'Action type', and 'Action settings'.

13. 「Save Action to Conversation (アクションを会話に保存)」をクリックして、自動プロセスを実行します。